

ナラ枯れ被害の状況と防止対策（民有林）

- 1 被害状況
- 2 令和 2 年度における防止対策
 - (1) 監視対策
 - (2) 駆除対策
 - (3) その他の被害対策
- 3 令和 3 年度における防止対策
- 4 参考資料

1 被害状況

青森県におけるナラ枯れ被害は、深浦町大間越地区で平成 22 年度に初めて確認され、一旦終息したものの、平成 28 年度に同町で被害が再確認されて以降、年々拡大傾向にある。

本年 9 月に、令和 2 年シーズン（令和 2 年 7 月～令和 3 年 6 月）は、これまでに被害が確認されていなかった、弘前市、西目屋村、五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町及び中泊町において新たに発見されたほか、深浦町内でも被害が著しく増加し、昨シーズンの 3.1 倍となる 26,978 本の被害が確認されている。

表 1 青森県におけるナラ枯れ被害の推移 (単位：本)

| 被害年・シーズン | 市町村 | 民有林 | 国有林 | 合計 |
|----------|-------|----------|----------|----------|
| H22. 12 | 深浦町 | 2 | 0 | 2 |
| H28 | | 23 | 62 | 85 |
| H29 | | 354 | 1,677 | 2,031 |
| H30 | | 1,301 | 1,108 | 2,409 |
| R1 | | 8,710 | 5,469 | 14,179 |
| R2 | 合計 | (26,978) | (14,266) | (41,244) |
| | 深浦町 | (26,919) | (14,146) | (41,065) |
| | 弘前市 | (8) | (1) | (9) |
| | 西目屋村 | (1) | (7) | (8) |
| | 五所川原市 | (6) | (0) | (6) |
| | つがる市 | (8) | (0) | (8) |
| | 鱒ヶ沢町 | (29) | (65) | (94) |
| | 中泊町 | (7) | (47) | (54) |

※H28～R1 シーズン：シーズン確定値、R2 シーズン：1/25 時点の被害木本数

既存被害地（深浦町風合瀬地区～秋田県境）の被害を地区別でみると、風合瀬地区及び長慶平地区を除く麩木地区のほか 6 地区において被害密度が 10 本/ha を超えており、「青森県ナラ枯れ被害対策基本方針」で示す「被害発生中期以降」となっている。

表 2 深浦町の既存被害地におけるナラ枯れ被害の密度

| 地区名 | 被害本数（本） | 被害密度（本/ha） | 被害状況 |
|--------|----------|------------|----------|
| 風合瀬 | (110) | (0.76) | 被害発生初期 |
| 長慶平 | (9) | (0.09) | 被害発生初期 |
| 麩木 | (2,485) | (15.59) | 被害発生中期以降 |
| 広戸・迫良瀬 | (3,225) | (11.79) | 被害発生中期以降 |
| 深浦・横磯 | (5,232) | (14.76) | 被害発生中期以降 |
| 艦作・沢辺 | (4,282) | (76.92) | 被害発生中期以降 |
| 岩崎 | (523) | (28.44) | 被害発生中期以降 |
| 森山・松神 | (4,432) | | |
| 黒崎・大間越 | (6,444) | | |
| 合計 | (26,742) | | |

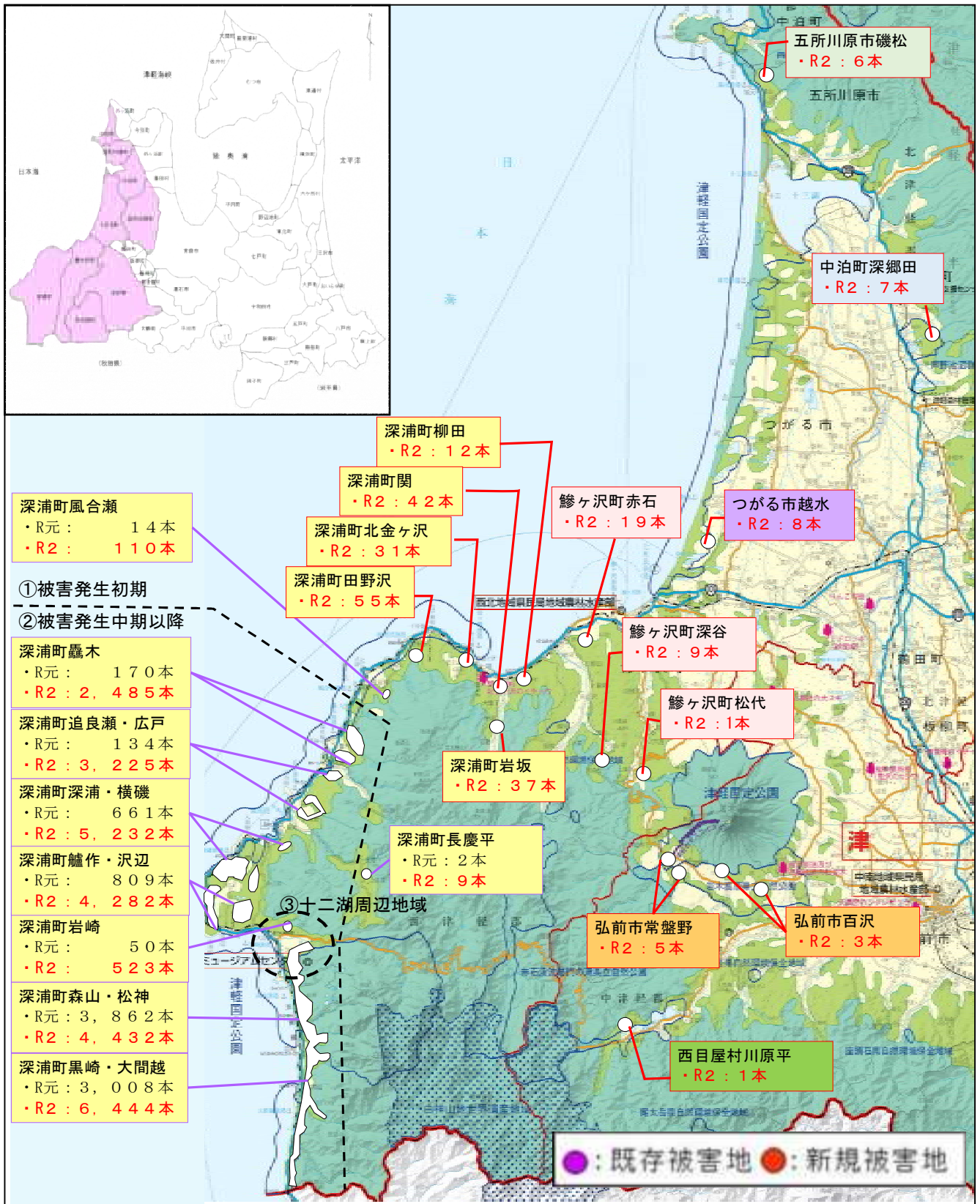


図1 県内における被害発生市町村及び地区別被害木本数

■青森県ナラ枯れ被害対策基本方針

(平成 24 年 5 月 15 日策定 平成 30 年 3 月 30 日一部改訂) 抜粋

3 被害駆除

(1)被害発生初期（被害木 10 本/ha 程度未満）

被害木は、伐倒・くん蒸処理を基本として全量駆除する。

なお、駆除にあたっては、カシナガの穿入によって枯死した被害木のほか、穿入生存木（フラスが出ているもの）も対象とする。

(2)被害発生中期以降（被害木 10 本/ha 程度以上）

(1)と同様に、被害木の全量駆除を基本とする。

ただし、被害量が増加する状況下では、全量駆除が困難になるおそれがあることや、急激な林分の消失による森林生態系への影響なども踏まえ、「被害対策検討会」での検討結果を基に、現場状況に応じた駆除やカシナガの誘引捕殺等の対策を講じるとともに、森林の公益的機能の回復を目標に、植栽や樹種転換等による森林整備等も進める。

2 令和 2 年度における防止対策

(1) 監視対策

被害が確認しやすい 9 月を「ナラ枯れ被害調査強化月間」とし、重点的に地上からの目視調査や県防災ヘリコプターやデジタル航空写真撮影による上空探査等の被害調査を実施しているほか、被害発生予察として 6 月から 9 月にかけて県内 14 か所に誘引器を設置し、カシノナガキクイムシ（以下「カシナガ」という。）生息調査を実施した。

今年度実施したカシナガ生息調査では、昨年度まで設置していた大間越地区の誘引器 2 器をつがる市越水地区に移設した。調査の結果、県内 14 箇所を設置したうち、深浦町とつがる市の 7 箇所でカシナガの成体が捕獲された。なお、生息調査では昨年度の約 2.8 倍となる 1,224 頭のカシナガが捕獲された。

表 3 ナラ枯れ被害監視対策

| 監視対策 | 実施内容 |
|---------------------|--------------------------------------|
| 森林巡視活動業務員による地上からの監視 | 中南 4 人、西北 8 人(県内 31 人) |
| 県防災ヘリコプター上空探査 | 探査回数:年 3 回 (中南地域・西北地域) |
| デジタル航空写真撮影 | 撮影範囲:深浦町～鱒ヶ沢町 (202 km ²) |
| カシナガ生息調査 | 14 箇所(中南 4 箇所、西北 10 箇所) |

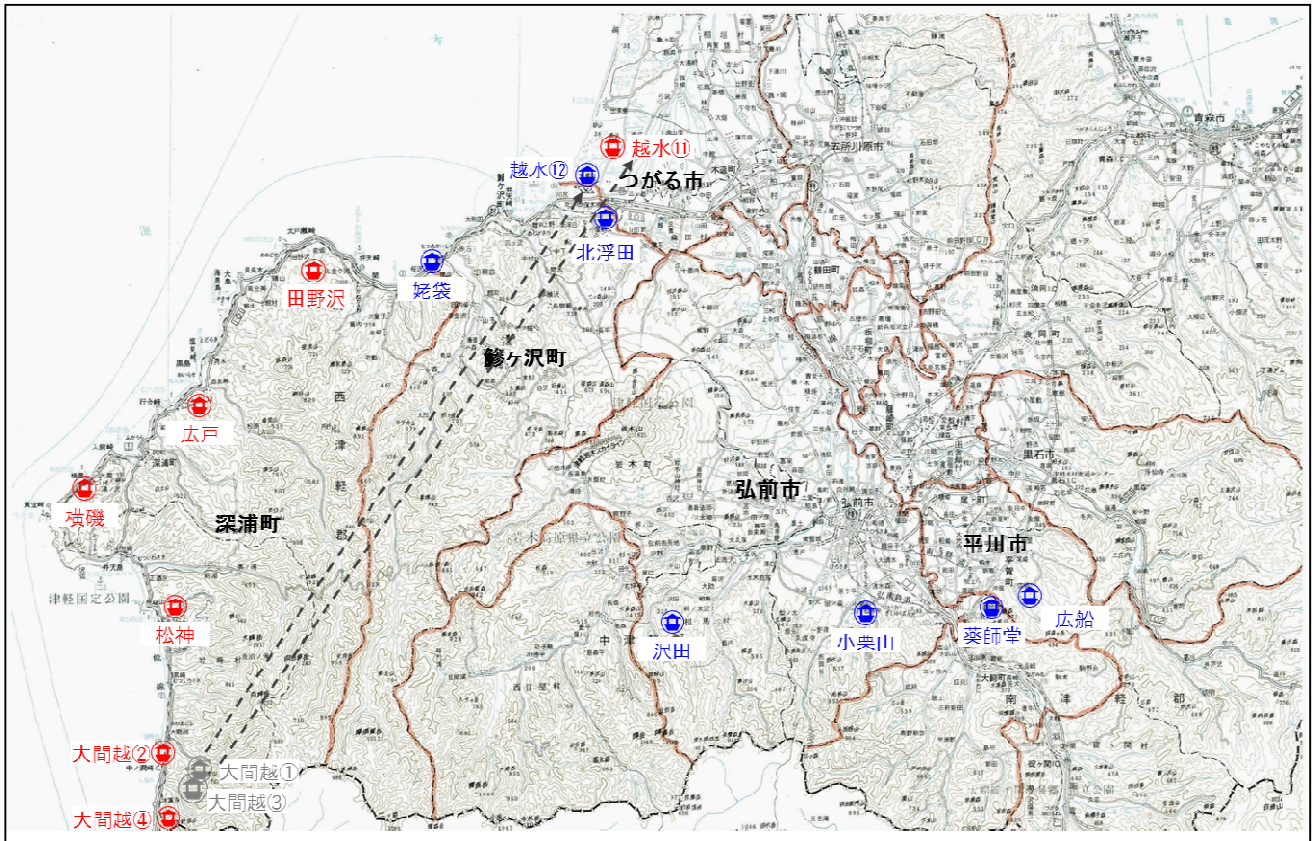


図2 カシナガ生息調査位置図

表4 カシナガ生息調査結果 (H23~R2)

(単位：頭)

| 地区 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 田野沢 | — | — | — | — | — | — | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 広戸 | — | — | — | — | — | — | 12 | 13 | 32 | 641 |
| 横磯 | — | — | — | — | — | — | 0 | 19 | 1 | 39 |
| 松神 | — | — | — | — | — | — | 0 | 1 | 1 | 4 |
| 大間越① | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 12 | 21 | — |
| 大間越② | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 37 | 13 | 255 | 268 |
| 大間越③ | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 19 | 6 | 2 | 0 | — |
| 大間越④ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 45 | 57 | 49 | 120 | 264 |
| 越水⑪ | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 1 |
| 合計 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 67 | 113 | 109 | 430 | 1,224 |

※表に記載のない地区では捕獲なし